

収益改革の10箇条 策定に向けて取り組んだこと

(1) 委員メンバの認識共通化

外部インプットを通じた課題の共通認識を図った。

インプットテーマ
・ DevOps 時代に SI 企業に求められる事は何か
・ ユーザ企業の開発内製化と内製オフショアの活用
・ 世界、日本で加速するデジタル変革～情報サービス産業、IT 企業はどう対応するか～
・ これまでの SOR これからの SOR ～SIer にこれから期待すること～

(2) 委員からの意見提示

外部インプットを元に委員より収益改革に入れるべき項目やキーワードをそれぞれ提示があった。提示された項目は 80 項目程度となり、趣旨が近いものなどを整理し、47 の意見に集約した。

(3) 意見の集約

a) 第 1 回生産性・収益力向上委員会にて、47 の意見についてそれぞれ確認。合議により 13 項目に集約。

b) 13 項目について、委員長と事務局にて一覧に書き振りも含め整理。再度、委員会メンバに確認。重複感などを加味し 9 項目に絞り込み。

c) 外部インプットの際の講演者 3 名と有識者（大学教授）1 名に 9 項目についてヒアリング。記載内容の精査をおこなうとともに、外部視点で不足を指摘された 1 項目を追加して 10 項目としている。

d) 正副会長会議での確認を経て、一部修正し「収益改革 10 箇条」として策定した。

以上